

平成29年 9月 7日

各 位

会 社 名 株式会社マネーパートナーズグループ
 代表者名 代表取締役社長 奥山 泰全
 (コード番号：8732 東証第一部)
 問合せ先 取締役 C F O 中西 典彦
 (TEL. 03-4540-3804)

平成29年 8月次 月次概況 (速報) のお知らせ

平成29年 8月次の当社グループの月次概況 (連結ベース) を下記のとおりお知らせいたします。なお、営業収益及び外国為替取引預り証拠金は速報値であるため、決算発表時の数値と異なる場合があります。

記

年 月	平成 28 年											
	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月
営業収益 (単位：百万円)	572	559	529	473	468	738	551	401	525	362	562	563
外国為替取引高 (単位：百万通貨単位)	92,445	96,278	70,156	74,405	68,455	91,113	88,556	61,925	69,423	55,772	96,989	76,584
外国為替取引口座数 (単位：口座)	272,521	274,164	275,538	276,891	278,360	280,816	282,791	284,866	286,494	287,842	289,389	290,820
外国為替取引預り証拠金 (単位：百万円)	60,316	60,224	59,769	59,413	59,478	57,133	57,278	58,715	58,608	59,136	60,882	61,201
一般顧客	49,244	47,950	48,396	48,825	49,273	48,465	48,378	49,173	49,046	48,987	49,458	49,201
金融法人 (B to B)	11,072	12,274	11,373	10,588	10,205	8,668	8,900	9,541	9,562	10,148	11,423	12,000
マネパカード口座数 (単位：口座)	(平成 29 年 3 月分からの開示項目であるため非開示であります)											

年 月	平成 29 年											
	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月
営業収益 (単位：百万円)	458	412	521	469	488	449	404	489				
外国為替取引高 (単位：百万通貨単位)	95,875	77,214	75,386	63,192	72,786	82,184	88,166	117,248				
外国為替取引口座数 (単位：口座)	292,553	294,472	296,861	298,467	300,139	301,557	303,106	304,509				
外国為替取引預り証拠金 (単位：百万円)	60,221	60,814	60,325	59,995	61,529	62,091	62,774	63,253				
一般顧客	49,392	49,446	49,784	50,108	50,819	51,353	52,431	53,410				
金融法人 (B to B)	10,828	11,368	10,541	9,886	10,709	10,737	10,342	9,843				
マネパカード口座数 (単位：口座)	(非開示)		73,733	77,503	81,189	85,019	90,702	97,327				

- (注) 1. 外国為替取引高は、顧客との相対取引による通貨毎の取引高を原通貨単位のまま合計したものであり、円換算は行っておりません。
2. 外国為替取引口座数、マネパカード口座数及び外国為替取引預り証拠金は、それぞれ月末時点の口座数及び残高であります。
3. 平成23年 8月より差金決済取引 (CFD) の取扱いを開始しており、CFDにおける預り証拠金、取引高 (原取引単位を米ドルに換算) 及びこれに伴うトレーディング収益はそれぞれ「外国為替取引預り証拠金」、「外国為替取引高」及び「営業収益」に含めて表示しております。
4. 外国為替取引預り証拠金は、一般顧客からの取引によるものと B to B 取引先である金融法人からの取引によるものを区分して表示しております。

< 8月次の概況 >

8月の外国為替市場は、米ドル／円については、1ドル＝110円台前半で取引が始まり、強弱まちまちな米国経済指標の結果を背景に持ち合いで推移しましたが、北朝鮮のグアム付近への弾道ミサイル発射計画が報道されると円が買われ、11日には108円台後半をつけました。その後は、北朝鮮情勢への思惑や米国金融政策への思惑が交錯するなか、108円台半ばから110円台後半にかけての狭いレンジで推移しました。その後も、29日に北朝鮮が日本上空を通過するミサイルを発射したことを受けて月の安値となる108円台前半をつける局面はありましたが、109円台後半で月末を迎えました。一方、米ドル／円以外の主要な取扱い通貨である欧州・オセアニア通貨についても、前月同様極めて値動きに乏しい相場推移となり、米ドル／円を含めた全体としての変動率は、極めて低調であった前月をわずかに上回ったものの低い水準となりました。

このような状況の中、外国為替取引高は、主要通貨ペアのスプレッドを縮小したこともあり、前月比33%増加の1,172億通貨単位となりましたが、スプレッド縮小による収益率の低下が取引高の増加分を一部相殺した結果、営業収益は、前月比21%増加の489百万円となりました。また、顧客基盤については、外国為替取引口座数は前月比1,403口座増加の304,509口座、マネパカード口座数は前月比6,625口座増加の97,327口座と、低迷する外国為替相場の変動率の影響にもかかわらず堅調な増加となった一方、外国為替取引預り証拠金も、前月比479百万円増加の63,253百万円と堅調に推移しました。

以 上